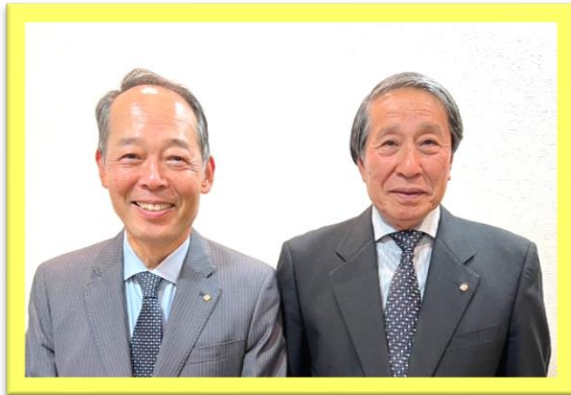




世界に希望を生み出そう

草加松原ロータリークラブ

2023-24年度 国際ロータリーのテーマ 世界に希望を生み出そう



第560回 例会 2月13日 草加市文化会館

＊＊本日のプログラム＊＊

開会点鐘	幹事報告
ロータリーソング	委員会報告
四つのテスト	SAA報告
お客様紹介	出席報告
会長挨拶	閉会点鐘

誕生祝・結婚祝

1月30日の例会記録

◆ お客様

第9Gガバナー補佐 坪田祐貴様
 // ガバナー補佐幹事 市川英敏様

◆ 会長あいさつ

山崎秀美会長

皆さんこんばんは、今が1番寒い時期ですが、第9グループではIMが2月8日に開催されます。IMが終わると、地区やグループでもの活動も大体終わり、やる事がなくなってきました。このような流れで、優秀の美を飾ろうと、今皆さん頑張っているところでございます。

当クラブでも、とりあえず前半が終わって後半、1月から寒い中ですが会員の方に参加していただき、色々な活動していますけど、毎年2月・3月頃疲れてくる時期なのです。

そこで今年は、ロータリーの基礎を学んでいただきたいということで「勉強会」簡単に言うと「ロータリーの基礎」これは古い冊子ですが、新しくなりました。これを会員の皆さんに1度読んでいただきたいわけです。この前、配布しましたが、まだ持っていない方は、事務局に言って貰って下さい。ロータリー活動がわかるような書類、書物になっていまして、非常に纏まっています。前のロータリーの基礎と比べてみますと新しいロータリーの変化と言いますか、その辺についても、書き換えてあり、アップデートされています。これを1回、会員の方に読んでいただき、それを目的に研修会と言いますか、懇親を兼ねて、3回ほど、牛山プログラム委員長さんに、お骨折りをいただき、森研修リーダーにもお骨折りをいただく予定でございます。

今日は、イントロというか、職業奉仕について、森会員に熱い卓話をしていただく予定です。それで5年以内の会員の方は、みんな盛れるような情熱を持って、ロータリー活動に邁進できるようになるはずでございますので、よろしくお願ひしたいと思います。

この時期は、要するに寒いとか、色々外に出づらいうような状況ですけれど、この時期にきちっとロータリーは何かということ勉強していただき、そうすると次年度、新しいメンバーが各委員会の委員長になる方も、多分多くなると思うのです。そういう方が何をやりたいか、何をやるべきかと言うことが、この「ロータリーの基礎」という本に纏まっていますので、これを元に1年間の活動・基本方針を決めていただくような形になると思います。寒い中、今日は熱くなるような森さんの卓話を期待しまして、会長挨拶に返させていただきます。ありがとうございました。

今後のプログラム

2/20 ミニコンサート「シャンソンのタペ」	レセプション
2/27 卓話 富永 悟会員	レセプション
3/5 誕生祝・結婚祝	レセプション

1月30日 ニコニコBOX

金額	21,000円	累計	562,000円
----	---------	----	----------

1月30日 出席報告

会員総数	34	出席	15
出席免除	3	MU	2
出席適用	31	出席率	61.29
ZOOM参加	来栖勝幸会員		

国際ロータリー第2770地区第9グループ

草加松原ロータリークラブ

会長：山崎 秀美
 幹事：会田小弥太

例会日：毎週火曜日 19:00~20:00

例会場：草加市文化会館

事務局：草加市青柳 8-56-21

TEL/FAX 048-967-5315

PC : sokamatsubara@abelia.ocn.ne.jp



職業奉仕について

森 勇一 会員



皆さん、こんばんは森でございます。本日は私の拙い卓話ということでさせていただきます。今日は昼間、商工会議所は今月いっぱい建て壊しになるので最後に職員と一緒に商工会館の前で記念撮影をして、最後に寄付金をいくらにするかっていうことを皆で決めてきました。

私は、2020-2021年度の国際ロータリー第2770地区職業奉仕委員会に出向いたしました。その時の職業奉仕部門委員長が、岩槻東ロータリーの菊地部門委員長、そして委員長がさいたま新都心ロータリーの都築さんという方で、非常に優しい皆さんの元、色々と学ばせていただきました。森さんは、あまりロータリーのことよくわかってないみたいだから、担当は会計やってねっていうことで、良かった会計でいいのだと思ったのですが、結構飲み会とか夜話会、夜の話と書くのですが、結構会計で大変な思いをし、この委員会は部門長入れて、7人でやってきたのですが、本当に充実した委員会だったな！コロナがちょうど1年目だったのです。ですから飲み会も、制限されている中、最後に越谷の若松っていう料亭がありまして、そこで森くん、「十四代」という酒飲みしちゃうからって飲んで、炭酸が入っている日本酒っていうのが私の印象でした。発砲ですね。ナンバーシックスっていうのも今度飲ましてやると言われ、それを飲みたいばかりに委員会は毎回出ていました。そんな思い出があります。

職業奉仕というのは、今日新入会員の方があまりいらっしやらないのですがロータリーは面白いのですよね。まず、あの「4大用語」ご存知ですかね。皆さん見えますね。今日これについて話そうかなと思っていたら飾ってなかったのを飾ってもらいました。また、ガバナー補佐や補佐幹事が来ることを知らなかったのも、このような話しをしようと思いましたが参ったな～！なんで僕の時によりによって来ちゃうのという感じです(笑い)

ロータリーの4大用語のうち、筆頭にきているのは「ロータリーの木」でございます。これもよく見ていただくと、根幹にあるのは「職業奉仕」なのです。ロータリーの5大奉仕、なんだか知っていますね。申し上げると「クラブ奉仕」それから、「職業奉仕」「社会奉仕」「国際奉仕」最後にできたのが「青少年奉仕」です。最初は4大奉仕になっていたのですが、青少年奉仕が最後にできました。

職業奉仕が、「ロータリーの金看板」と言われています。凄いな～ロータリーの金看板、ロータリーは職業奉仕中心に動いていると卓話に行った時話させていただきましたら、面白くなさそうな顔をされ怒られたこともありました。

皆さん、ロータリアンってどんな人だと思いますか！と新入会員の方に質問をするところなのですが、いらっしやらないので、割愛した方がいいかなと思います。私が職業奉仕委員会に出向した時に、森くん「シェルドンの森」持っているとされたのです。「シェルドンの森」ってなんですか！と聞くと、ロータリーの真実を求めてってということで、2011年に田中毅さんと言う2680地区のバスターの方なのですが「源流の会」が発行したもののようです。これはロータリーの生い立ちなどが出ているのかな～と思ったのです。最後にシェルドンの奉仕の理念というのがありました。特にシェルドンを覚える必要ないですけど、原因と結果の法則と言うのは、ジェームズ・アレンという人が出した本があるのですが、ちょっと読み上げますね。今日参加して良かったと思います。奉仕の理念です。聞いてください。小さな炎には小さな熱、大きな炎には大きな熱があります。ささやかな奉仕はささやかな報酬の価値があり、大きな奉仕には大きな報酬の価値があります。少ない報酬を嘆くのではなく、大きく奉仕をして大きな報酬を得てください。奉仕の原則は、雇用主、従業員双方に適用される人間有用性の原則です。労使の双方が奉仕の原則を適用するところに会社の発展があります。そして、奉仕活動の実践や公正な取引には、現実で適正な対価が支払われるのです。最後に事業の失敗は、結果である利益を先に臨むこととなります。もう一度申し上げます。事業の失敗は、結果である利益を先に臨むこととなります。先に原因があり、後に結果がついてくるのです。原因と結果の法則のジェームズ・アレンが書いてこの本にも載っていますが、非常に奥が深い話です。職業上の高い倫理基準と高潔性を有している人。ロータリーはそういう人だということ。そして日々、奉仕の理念を実践している人。奉仕の理念とは、利他の心を持って社会に奉仕することです。人に対する思いやりを持って、人の役に立つことです。

ロータリーは、一体どういう風にできたのかな？

ロータリーの歴史を簡単に申し上げますと、ロータリーの始まりは1905年、アメリカ、シカゴでポールハリスという人、ポーリアハリス弁護士の方が、4人の仲間を呼んで、親睦と物質的総合扶助による事業の発展について色々話し合いをしてきたわけです。

その時、この4人の中で、ガスターバス・ロアさん、鉱山技師方のお家で話し合いをしました。初期のロータリーの思考です。シルベスター・シールさん、石炭商です。ハイラム・ショーレ、洋服生地商そして、5人目は、印刷商のハリ一、ラグレスさんという人です。そして、その5人でシカゴロータリークラブが発足されました。要するに気の合う仲間だけで仲良くして自分たちの商売が反映することだけを考えて和気藹々とサロニック的やっていこうと考えて会員を集めようとしていました。そこにドナルド・カーターさんがそんな自分達のことばかり考えて、自分達の利益しか考えないような連中が集まってずっと続くと思っているのか、人の尊敬と信頼を受けないような団体は長続きしないぞ！考え直せっていう喝を入れました。そこで僕らも人のためにやっていこうと考えました。そして1907年に公衆トイレをシカゴ市内に設置いたしました。これがロータリーの世界最初の社会奉仕プロジェクトだったのです。そして、1908年、翌年にサンフランシスコロータリークラブができて、2年後の1910年、アメリカ内が、16のロータリークラブができました。そして、アメリカだけでなく、1911年にはアイルランド、イングランドに渡っていき、日本はいつロータリークラブが発足して、どこが最初だったか！最初は1909年、1920年、東京ロータリークラブです。世界で855番目、国際ロータリーには翌年、1921年の4月1日に承認をされました。帝国ホテルに行きますと、東京ロータリークラブのプレートが飾られています。

ロータリーの2つのモットーということで、ロータリーの標語なのですが、有名なのは、ベンジャミン・フランクリン、ロータリアンだったら「超蛾の奉仕」は知っているはずですよ。

「超蛾の奉仕」元々は、コリンズさんという人が、「私をなくす」と書いて、無私の奉仕で言う“Service, not self”と言うのです。別の訳し方をすると、自己犠牲をしなさいという事をモットーに掲げたのですが、その後、アーサーF シェルドンがそれは言い過ぎだという事で考え方を超蛾の奉仕に変えなさい！もっと人道的な奉仕活動を理念にしましょうと言うことで、“Service above self”人に対する思いやりを持って人のために尽くす自分を犠牲にするとか、そういうようなことじゃないという事を掲げました。これが1911年。そして、代表としてそのアーサーF シェルドンが先ほども申し上げましたけども、原因結果の法則の中にも書いてありました。「他人に最もよく奉仕するものが最も多く報いられる」“One Profits Most Who Serves Best”と申し上げまして、これを提唱されたのです。最もよく奉仕する人、出せば入るではないですけど、日本語って面白いですね！必ず出す方が先なのです。「出入口、入出口」はいですね！会計をやっている人は、「出入金、入出金」ってないですね！出る方が先なのです。船に乗っている人ならわかると思いますが、港で出ていく船と入ってくる船、出る舟が優先なのです。

皆さん、出す方が先だということ！これを思ってください。まずは貰う方が先だということはないです！これはもうこの世界でも同じことなので、ロータリーだけに限定した話ではありません。

「ロータリーの目的」は、1912年に採択されました。これはもう皆さんが第一例会の時に皆さんと唱和しております。「四つのテスト」今日は松田会員が読み上げて下さいました。ありがとうございました。

「四つのテスト」現行はこれに照らしてからと言って4つ読み上げます。最初「四つのテスト」4つでは無かったのをご存知ですか。7つです。この「四つのテスト」これこそが職が奉仕なのです。職業奉仕が先なのか、この「四つのテスト」が先なのか！「四つのテスト」は職業奉仕のためにロータリアンはみんな唱和しているのです。なんでそこまで言うのっていうと、潰れかけていた食器会社、1931年です。ハーバード・テラーという人が、クラブアルミニウムという、従業員250人の会社がもう潰れそうだよって言う時に、なんとかしようということでその人が経営者として入っていった！アルミ食器業界の現状は大変厳しかったそうです。テラーは、いかにすれば再建が可能になるか、6週間考えてこの状態を切り抜けるためには、全員が極めて倫理的な立場を取らないとダメだな！と考えたのです。正義こそ力の源だ！従業員の正しさに耳を傾け、それによって行動する管理運営ができれば万事うまくいくと思って、社内中の誰もが頭の中に収め、そして対人関係での思考と言動に応用できるような座右の銘が必要であると考えたのです。そして、その時に上がったのが、この「四つのテスト」で、色々な事件の解決がありました。

このアルミニウム社がどういことがあったかと言いますと、私が覚えている範囲で申し上げますと、潰れかけていた食器の卸会社の営業部長さんが大量注文を取ってくる！するとよくやった！これで業績もだいぶ良くなるよって言ったら、オーダーをかけてくれた会社さんが、これだけ注文を出したのだから、他の商社よりもちょっと安く卸すけど良い！と言うことを打診してきたのです。クラブアルミニウム社に、その時、ハーバード・テラーが考えたのです。大きなビジネスだけど、もしここで、その販売会社さんが安く、そこだけ卸すことになる今まで自分のところから買ってくれた商社さんはどういう思いをするのかなって思い、それはダメです！公平さが無い！それはお断りしますと大きなビジネスを断ってしまう。その他にも誇大広告、この化粧品をつければ10歳若返りますとか、幻のラーメンなどの誇大広告はやめよう！商品価値や、素晴らしさというのは、自分たちが決めるのではなくて、お客様が呼んでくれるっていうのが正しいということ社員教育にしていっていったわけです。

そうすると、社内の不正もなくなり、いじめもなくなって、本当に規律正しい会社になっていった。

そして、常に毎日、朝、みんなで唱和している。「四つのテスト」現行はこれに照らしてから、真実かどうか…みんなのためになるかどうかと、中には、みんなのためにと考えていたら商売なんかできないと言っていた人もいたらしけど、ハーバード・テラーは、そんなことはない、いつかは分かるとやり続け、その精神は変えることはなかったそうです。この精神、日本ではどうなのかな？日本に由来からの商売哲学、皆さん色々で経営者の方がたくさんいらっしゃるから、釈迦に説法かもしれないですけど、いくつかあるのです。私が調べてきたんですけど、石田梅岩の石門心学、都鄙問答(とひもんど)これ聞いたことありますか！働くとは、傍(ハタ)を楽にする行為である」というものがあります。傍とは、近くの人を指し、近くの人を楽にするために、人のために動くことが「働く」の意味、商売哲学！『道徳なき経済は犯罪であり、経済なき道徳は寝言である』これは、有名な二宮尊徳(二宮きんじろう)さんの言葉です。渋沢栄一が言ったのは「論語とそろばん」似たような事ですが、両立をさせてこそ経済を発展させという考え方で、信用こそ全てのもとで、わずか1つの信用も、その力は全てに匹敵するという。人間性の追求、社会性の追求、経済性の追求っていうこと。渋沢先生はそうのように言ってきた！二宮先生の「たらいの水」ご存じですか？たらいに水張りますよね、自分の方に引き寄せようとすると、水は向こうに逃げてしまう。あっちに行くとやると、自分の方に水がやってくるのです。この考え方が二宮尊徳です。そして近江商人の「三方よし」こういことが日本の由来からの商売哲学です。これも「四つのテスト」と共通性があるのです。

「三方よし」今は「五方よし」と言われます。近江商人の企業理念ですね。「売り手によし、買い手によし、世間によし、取引業者有し、社社員よし」こういことです。

奉仕とボランティアの違いこれ非常に難しいです。ボランティア活動と奉仕活動って同じと思われる方いらっしゃるのですが、奉仕とは奉公の由来。国家や社会のための自分を全て尽くすこと。対価が発生しない、これサービスです。そして、ボランティア、自らの意思により他人や社会に貢献する行為。組織、団体、学校等から指示されて行うものではない。ちょっと分かりづらいので、分かりやすい例を言いますと、動物病院を営んでいるある医師が公立幼稚園の砂場における「ぎょう虫検査」の奉仕活動を行いました。砂場は非常に不衛生な所で、野良猫や野良犬が来て糞をします。その中にぎょう虫が混じっていることがあり、園児が知らないうちに感染してしまうことがあるそう。そこで、砂場のぎょう虫検査をすることにより、より安全な砂場で園児が遊べるように園児の健康管理を目的に行いました。さて、この奉仕活動の従事者が誰であるかと言うことなんです。受益者は幼稚園の園児でございます。そして親でし。地域社会としては幼稚園であり、教育委員会です。この意味から言うと、奉仕活動は社会奉仕になるのです。次にこの奉仕活動について、自分自身に受益者になるのはどういう場合でしょうか。それは、園児や親や幼稚園、教育委員会がこのお医者さんに対してどのような感情を持つかなのです。

自分の職業を通して子供たちの健康管理というものを考え、自分で何が出来るかを考えて行ったこの砂場のぎょう虫検査は、園児の親や幼稚園がこのお医者さんに対して尊敬の念を持つに違いありません。それと同時にこのお医者さんは、信頼と信用を砂のぎょう虫検査という奉仕活動で自分の奉仕をすることによって、地域社会から尊敬と信頼と信用を自分自身が得るのです。そして、自分の職業はその反射的効果によって反映するのです。これがロータリーの職業奉仕なのです。奉仕活動によって自分自身が受益者になるのです。最終的に得をするのは自分なのです。最初に申し上げましたね。最もよく奉仕するものを最も多く報いられる。この言葉、忘れないでくださいね！！以上で私の卓話を終わります。ありがとうございました。

第9グループガバナー補佐 坪田祐貴様

どうもこんばんは、山崎会長・会田幹事の方から、2月8日のIMの件に関しまして色々皆さんに説明いただきました。おかげさまで草加松原さんは、34名の登録をいただきました。本当にありがとうございます。また当日の参加は20名ということで、本当にありがとうございます。1人でも多くの方にとお思います。皆様のところIMのチラシが届いていると思います。ンタルヘルスというのは、今年度RI会長がテーマの1つとして掲げたものであります。精神的にいろいろな意味で病んでいる方を少しでも助けようというところから来ているものです。

今日松原さんの会報を見ましたら、竹村会員の卓話の最後の方にマザーテレサ、この人に対してはどうかという事は書いてありますけど、その中で30年間ずっと知った時から、自分の精神の意味と言いますか、そういう風なバックボーンになっているということが書いてありました。「この世の最大の不幸は、貧困や 疫病ではありません。誰からも必要とされていないと感じることです」と書いてあります。木山さん、第1部で講演をしていただいて、その後、この方の歌を歌っていただきます。木山さんという方もがんにかかって、罹患し、そこから立ち直った人生を歩んだ、そういう風なことを言っている方なので、何か共通するところがあるかなという風に思います。全体のテーマを「1人の命は地球よりも重い」という風なテーマを語らせていただきました。

何年か前に神の手という、脳外科の先生、福島先生っていう方がいらっしゃいまして、常時アメリカにいらっしゃるのですが、年に何回か日本に帰ってくるのです。その先生が日本で脳外科の手術をした時に、脳に手術するために穴を開けるのです。その時の穴の開け方が0.7mm違うだけでダメだという風なことを言うのです。数ミリ違ったことによって、その人の回復が全然違うということで、一生懸命1人の命を助けようということをやっている。

今、皆さんもご存じのように、石川県の地震とか色々な問題で、そんなに簡単に人の命が奪われていいのかなということ非常に考えております。このメインテーマ「1人の命は地球よりも重い」ということ。是非皆さんの脳裏においていただけますでしょうか。

もう一つ、ちょっと長くなりますけど、本来は3部で音楽をやっていた方がいらっしゃるのです。私が学生時代に東京の方に下宿し、6人いたのですが、同じ大学の後輩の子供さんが、長谷部さんがご存知の吉峯くん、私の後輩の子供さんなのです。あまり話したことはないのですが、たまたま長谷部さんの縁を持ってこの方に出会うことができ、この方にぜひ演奏していただきたいという私の長年の夢もありましたので、この場を借りまして縁の大切さというものを感じております。

どうか1人でも多くの方に、2月8日のIMにお声がけいただければと思っていますので、どうぞよろしくお願いいたします。下期、草加松原さんの活動がますます充実した6ヶ月を終えることを、山崎会長にご期待申し上げまして、挨拶とさせていただきます。どうもありがとうございました。

第9グループガバナー補佐幹事 市川英敏様

突然すいません、今の吉峯さんですけども、本来は第3部で演奏していただく予定だったのですが、会場の都合で演奏ができないということで、小ホールで第2部の始まる前に、ウェルカムミュージックという形で、15分間ですけども、演奏させていただきます。

最初の予定では吉峯さんのベースと、ギターの方とサクソの方、3人でやる予定だったのですが、時間が前にずれましたので、サクソの方がダメになり、アメリカ帰りの女性ジャズシンガーが入ります。

第2部の前14:15~14:30までということになりました。できましたらその時間に皆さんいらしていただければと思います。よろしくお願いします。一部が終わってすぐ入れ替えという形になりますので、見ていただければと思います。よろしくお願いします。

牛山信康プログラム委員長

皆さんこんばんは、山崎会長からもお話がありましたように、山崎会長年度1番の大切な、大切なプログラムをやるということで研修会をやるという事は、前回は申し上げたと思います。松原塾というのを3回やります。

2月、3月、4月に行きます。出欠表を閲覧しますので皆さんにご参加いただきたいと思います。研修会の際には、この前皆さんにお配りした「これだけは知っておきたいロータリーの基礎」という青い本を中心に皆さんでロータリーを語り合おうという形ですので、よろしくお願いします。

ペットボトルキャップ回収 パートⅢ

今回は鈴木 努会員の事業所「SCS株式会社」さんが集めて下さいました。約300kgと大量です！回収業者に直接運びました皆様のご協力に感謝申しますとともに引き続きよろしくお願いいたします。



令和6年北陸地震チャリティコンサート

被災された方にお見舞い申し上げますとともに、被災地支援を目的としたチャリティコンサートを草加シティRCと合同で2月12日(月)草加市中央公民館1階ギャラリーにて、高橋草加市副市長ご臨席のもと開催いたしました。草加ジュニアオーケストラの皆さんの合唱・演奏はとても素晴らしく多くの方に見ていただきました。チャリティ募金は、子ども達の呼びかけに多くの善意が寄せられ¥148,030になりました。市民の皆様のご協力に深く感謝申し上げます。草加市を通して被災された方々のお役に立てばと思います。ご参加いただきました会員の皆様ありがとうございました。



参加者

- 山崎秀美会長
- 田川富一会員
- 二階堂祐司会員
- 会田小弥太幹事
- 長谷部健一会員
- 事務局 荻田

幹事報告

会田小弥太幹事

こんばんは幹事報告をさせていただきます。会長のお話にもありましたように、2月8日 IMがございます。第1部、第2部、第3部とございましてちょっと長めの時間になるかもしれませんが、多くの会員の皆さんに出席をしていただければと思います。一応参加者につきましては、先々週、先週と出欠を取らせていただきました。市川補佐幹事の方にはもう連絡がいているかと思ひます。よろしくお願ひいたします。もう1点、皆さんのお手元にパンフレットがあるかと思ひます。令和6年能登半島地震支援金ご協力のお願ひということでございませう。これは、1月の理事会に通させていただきまして主催をするということになりました。開催日は、2月12日(月)、祝日になります。場所は、中央公民館 1階のギャラリーで行います。出演するのは、草加ジュニアオーケストラの皆さんということだす。お目通しをいただければと思ひますけれども、とりあえず主催と言ひましても、うちのクラブと、草加シティロータリークラブさん、2つのロータリークラブで主催をするということになっています。草加シティさんの方から話がありまして、私達のクラブはそこに参加させていたたくという形ではございませう。うちのクラブでは、社会福祉委員会の皆さんに当日はお手伝いをいたたくと思ひまひます。時間のある方は参加していただければと思ひます。時間については1時間半ぐらひかなと考へておりますので、よろしくお願ひいたします。幹事報告は以上です。

坪田 祐貴様 草加松原ロータリークラブのみなさまこんばんは、本日宜しくお願ひ致します。
 市川 英敏様 2月8日インターしてえいミーティング宜しくお願ひ致します。
 山崎 秀美会長 坪田ガバナー補佐、市川ガバナー補佐幹事ようこそお越し下さいました。
 会田小弥太幹事 森 勇一会員、卓話楽しみです。皆さんを元気にして下さい。
 飯山 英彦会員 坪田ガバナー補佐、市川ガバナー補佐幹事ようこそ、
 牛山 信康会員 森 勇一会員卓話楽しみです。宜しくお願ひ致します。
 加藤 芳隆会員 森 勇一会員卓話ありがとうございます。
 田中 和郎会員 坪田ガバナー補佐、市川ガバナー補佐幹事ようこそ。
 富永 悟会員 卓話、森さん宜しくお願ひします。
 二階堂祐司会員 森会員卓話宜しくお願ひ致します。
 長谷部健一会員 明日、明後日と3月中旬並みの温かさ、ありがたいですね。森会員卓話楽しみです。
 松田 龍美会員 森会員の卓話楽しみにして遅刻しても来ました。
 森 勇一会員 同業の賀詞交歓会で猫を60匹以上飼っている女性と話しました。凄いです。
 安田 洋介会員 森会員卓話楽しみです。
 渡辺 直之会員 先週は所用が重なり欠席しました。今日は森会員の職業奉仕の卓話を楽しみに来ました。
 本日、森会員の卓話宜しくお願ひ致します。楽しみです。
 本日は拙い小職の職業奉仕の卓話をご聴講いただきまして有難うございました。
 本日は森会員の卓話を楽しみに参りました。宜しくお願ひ致します。
 先ほど妻より「結婚祝」のお花が届いたと喜びの連絡がありました。会員の皆様ありがとう
 ございます。本日は森会員の卓話を楽しみに参りました。宜しくお願ひ致します。

インターシティミーティング

テーマ「メンタルヘルス 一人の命は地球より重い」

開催日 2月8日(木)
三郷市文化会館小ホール・大会議室

プログラム

第1部 記念講演・歌謡ショー

講師 木山裕策

ウェルカムウェルカムミュージック

演奏者 ベース 吉峯勇二郎

ギター 鈴木直人

ボーカル 渡邊美和

第2部 式典

第3部 懇親会



参加者

山崎秀美会長	会田小弥太幹事
飯山英彦会員	牛山信康会員
加藤芳隆会員	木村博行会員
鈴木 努会員	田中和郎会員
富永 悟会員	長谷部健一会員
松田龍美会員	二階堂祐司会員
安田陽介会員	
事務局 岡本栄子	荻田郁子